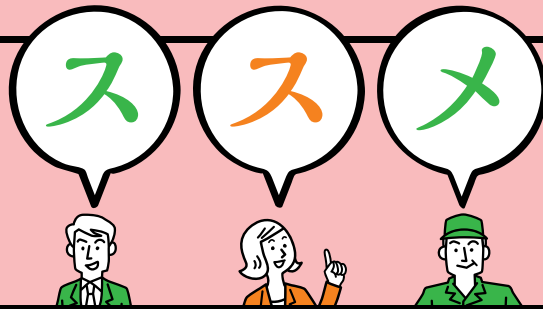


がん対策の

ニュースレター



Vol.8

日本は、2人に1人が“がん”になり、3人に1人が“がん”で亡くなる世界トップクラスのがん大国です。がんの6割が治る今、がんを抱えながら働く人も増えています。これから一緒に、がんについて学んでいきましょう！ぜひ、あなたの大事なご家族や、職場のみなさんと読んでみてください。



Dr.中川のがん通信

がんでも仕事をやめない、やめさせない

こんにちは。がん対策推進企業アクション議長の中川恵一です。
職場でのがん対策に関する最新情報を盛り込んだ書籍『がんは働きながら治す!〜一億総活躍社会のためのがん教育〜』(労働調査会出版局)を今月発刊できることになりました。

がんになっても会社を退職せずに働ける(働かざるを得ない)時代になっています。しかし働く人のがんという視点から、必要な情報をまとめた書籍は乏しいのが現状でした。がん対策は情報戦でもあります。本書は働く皆様が賢くがん対策をするためのお供となることを願って作成致しました。本ニュースレターをご購読頂いている皆様にとって、まさに必要な1冊だと思いますので、内容を紹介させていただきます。

がんはこれまで私傷病とされてきました。**私傷病とは労働者のかかる病気のうち、業務に起因しないと考えられる病気のこと**です。要するに、がんは会社とは関係のない個人の病気であると考えられてきました。それゆえ企業によるがん対策は遅れてきたのです。しかし今、国を挙げて企業によるがん対策が進められています。その最大の理由は高齢化による雇用環境の変化です。今や日本は**世界一の長寿国であると同時に、世界一のがん大国**でもあります。がんは細胞の老化現象であるため、年齢とともに増えていきます。日本人男性の3人に2人、女性の2人に1人が、がんになると言われています。

高齢化する社会を支えるために、老若男女、できるだけ多くの日本人が労働参加する必要性が増しています。その1つが定年の延長です。つまり働く高齢者が増えていきます。また女性の就業率も上がっています。結婚後も仕事を続ける女性も増え続けています。以前であれば退職したり、専業主婦となっていた人たちも、今や労働者として働かざるをえない時代です。その当然の結果として、**働く人のがんが増える**のです。

この流れはこれからも加速していくでしょう。国が企業にがん対策を求める施策を強く求め始めたのは、この現状認識(危機感)に基づいています。

2016年12月9日、がん対策基本法の改正が成立しました。改正点のひとつとして、事業主の責務として、労働者ががんになっても就

労継続できるよう支援に努めることが明記されました。これからの会社はがんになっても働き続けられる場でなければならない、事業主も労働者もこの共通認識を持つことが必要です。

またそもそもがんにならないための対策(予防)も重要です。具体的には、がん検診の受診率の向上や受動喫煙対策など、企業として取り組まなければならない課題もたくさんあります。

がん対策は情報戦です。しかしがんになるまで、自分の問題として向かい合おうとしない方が多いのも事実です。結果として、暴飲暴食、喫煙、運動不足、肥満、検診に行かないなど、自らにがんを招き寄せるような生き方をしている人がいます。一方でがんの告知を受けると「もうだめだ」と思い込み、離職してしまったり、自殺を選択してしまう人もいます。いずれも正しい知識があれば、防ぐことができる問題なのです。例えば「検診などでがんは早期発見できれば、がんの5年生存率は90%以上であること」、「仕事を続けながらがん治療を受けることができること」など、知ること生き方が変わる知識がたくさんあるのです。

拙著『がんは働きながら治す!〜一億総活躍社会のためのがん教育〜』は、がん社会におけるさまざまな課題を一つずつ丁寧に解きほぐしながら、「がんで仕事をやめない、やめさせない」企業を実現するための処方箋を提示しています。是非一人でも多くの方に、ご一読を頂けると幸いです。



中川 恵一(なかがわ けいいち)

東京大学医学部附属病院放射線科准教授。厚生労働省の「がん対策推進協議会」委員、「がん対策推進企業アクション」アドバイザー・ボード議長。「がんのひみつ」(朝日出版社)などのがんに関する著作多数、現在毎週日曜日、日経新聞朝刊で「がん社会を診る」連載中。

がん検診のススメ 第③版 内容のご紹介

「がんを知り、がんと向き合い、がんに負けない」ための情報を盛り込んだ冊子『がん検診のススメ 第3版』。2人に1人ががんになる日本。働く人やその家族の命を守るためには、がんについての知識を持つことが欠かせません。また、がんになっても働き続けられる環境づくりも大切です。



◎はじめに

◎がん対策の「切り札」は、がんを知ること

- (Q1) 私でも、がんになりますか？
- (Q2) どうしてヒトはがんになるの？
- (Q3) よく「良性」「悪性」と聞きますが、違いはなんですか？
- (Q4) がんを防ぐには？
- (Q5) 感染による「がん」もあるって本当ですか？
- (Q6) 男性が気をつけるべきことは？
- (Q7) 女性が気をつけるべきことは？
- (Q8) がんの症状を教えてください
- (Q9) 一度がん検診を受けたら、しばらく受けなくてもいいですか？

◎早期に見つけれれば、働きながら治せます

- (Q10) がんになったら、もう治らない？
- (Q11) がんになると、仕事を辞めなければなりませんか？
- (Q12) がん治療には、長期入院が必要ですか？

- (Q13) お金はどれくらいかかりますか？
- (Q14) がん検診にはどんなものがありますか？
- (Q15) がんは「放置」する方がよいと聞いたのですが？
- (Q16) がんの激しい痛みが怖いのですが？

◎おわりに

◎がん検診を受けるには？



●この冊子は「がん対策推進企業アクション」の推進パートナーに新規登録していただいた企業の皆さまにお配りします。

公式サイトのご紹介

がん対策推進企業アクション

検索

<https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp>

がん検診に関する様々な情報をはじめ、就労支援に関するあれこれ、部位別5大がんの説明、検診の種類などの情報が満載です。



スペシャリストQ&A

本レターや公式サイトにてがんに関する専門家がこたえてくれるQ&Aコーナーを設置しています。
【がん検診に関する質問】をぜひお寄せ下さい。



●お問い合わせ方法

パートナー専用ページの問い合わせフォーム（メール）からお問い合わせください

このニュースレターは、がん対策推進企業アクションのパートナー企業の皆様に毎月1回お届けいたします。がん検診啓発ツールとしてお役にください。



●お問い合わせ先

がん対策推進企業アクション事務局

厚生労働省委託事業

平成28年度「がん対策推進企業等連携事業」

Tel. 03-3823-0056 Fax. 03-3827-1995

E-mail : info@gankenshin50.mhlw.go.jp